

大分港大在沖火災船消火

平成27年9月26日午後零時半頃、大在沖で異常な黒煙が上がっているのを巡視船やまくにが発見、直ちに現場に急行しました。

現場では小型船が火災を起こしており、やまくには放水銃を使用して消火活動を実施、途中で巡視艇ゆふぎりも到着し消火活動に参加、約2時間後に火災は鎮火しました。火災船の乗組員2名は、付近にいた遊漁船に救助され、ケガもなく無事でした。その後、やまくに搭載艇で火災船を曳航しています。



放水銃による消火活動



巡視艇ゆふぎりによる消火活動





巡視船やまくに搭載艇による曳航作業